

奥出雲町立小学校再編方針（要旨）

【経緯】

①2009年（平成21年）答申 *奥出雲町学校再編基本計画検討委員会

「学校の適正配置は、地域関係者、保護者の意見を尊重しながら、学校・地域・行政が連携し、一体となって進めていく必要がある。このために、学校別に個々の事例ごとに具体的な方策を検討し、今後の学校のあり方や、統廃合時におけるその跡地利用も含めて、関係者等の理解を得て統廃合の対象校の再配置について、その具現化に向けて実施計画を策定し進めていくことが必要である。」

*具体的答申内容は、奥出雲町ホームページ「奥出雲町学校再編基本計画答申」に掲載。
(URL) <https://www.town.okuizumo.shimane.jp/www/contents/1001000000453/index.html>

②同年 具体的答申内容に沿って、教育委員会から井上町長（当時）へ報告

「児童が健やかに育まれる教育環境を維持するため、全校児童数15名以下の極小規模校は、早急に学校再編をする必要がある。また、複式学級のある小規模校についても、今後の児童数の減少や社会情勢の変化などにより、望ましい教育環境を確保するために、学校の再編をする必要がある。」

③井上町長（当時）、議会等で「再編（統合）しない」ことを明言。

*その後、約10年間、具体的検討をしない状態となる。

④2018年（平成30年）3月 勝田町長、一般質問の中で説明。

「平成30年度中に教育委員会が全町における学校再編の議論、計画を具体化する予定」*三成小改築に係る関連質問への説明として

⑤教育委員会にて小学校再編方針素案を検討

⑥2019年（平成31年）3月 総合教育会議（町長、教育長、教育委員）で素案について協議。

⇒ **町の再編方針として決定**

- ・2019年4月 自治会長会にて説明。
- ・5月末から校區別説明会にて説明。校区ごとの協議会の立ち上げを提案。

【奥出雲町の目指す子ども像】

奥出雲町への愛着と誇りをもち、
自らとふるさとの未来を切り拓こうとする子ども
(実現のための3本柱)

- ①ふるさと教育 「いつでも どこでも だれにでも 奥出雲町のよさが語れる子」
- ②キャリア教育 「いつでも どこでも だれとでも かかわり合って成長する子」
- ③学力育成 「いつでも どこでも 何にでも 意欲をもって取り組む子」

【奥出雲町の目指す学校像】

- ・多様な考えにふれられるなど、活力ある学習活動や集団活動ができる。
- ・教職員等の適切な配置のもと、学習指導や個への対応がさらに充実する。
- ・安全安心な学校環境及び充実した設備で多様な学習活動が展開できる。
- ・町内の極小規模校、小規模校、複式学級の課題解決のため及び上記内容も踏まえ、1学年20人程度以上となる規模を確保する。

*その実現に向け

令和4(2022)年4月、仁多地域、横田地域各1校へ再編する方針を提案

【今後の進め方】

- ・校区別協議会を立ち上げ、校区としての「再編方針に対する意向」を取りまとめる。(教育委員会としても立ち上げの支援等を行う)
- ・構成員等、協議会の持ち方については、決まった形はなし。ただし、各校区の状況等について共有する。
- ・跡地利用等、地域の今後に関わる内容については教育委員会だけでなく町長部局と連携し、情報提供、協議支援を行う。

2020年(令和2年)7月までに、校区ごとに意向を取りまとめる。

*再編方針に合意する場合

校区別協議会を再編準備委員会へ移行し、協議継続。

*再編方針とは別の意向がまとまった場合

再編にかかる協議は一旦終了。協議会の今後について相談予定。

なお、高尾小校区については2021年(令和3)年4月三成小との統合案を含めて、別途協議をさせていただいています。